

平成二十九年年度 大妻中野中学校海外帰国生入学試験 問題用紙
(第一回)

国語

座 席 番 号
番

受 験 番 号
番
氏 名

受験上の注意

- (一) この問題用紙は表紙を含めて五ページあります。
- (二) 試験開始後ただちにページ数を確認して下さい。
- (三) 問題用紙、解答用紙それぞれに座席番号と受験番号と氏名を記入してください。座席番号と受験番号は算用数字で記入してください。
- (四) 試験時間は五十分です。
- (五) 解答はすべて解答用紙に記入してください。
- (六) この試験は百点満点です。

□ 次の文章をよく読んで、あとの問いに答えなさい。

コミュニケーションとは、他者と意思の疎通をはかることである。「人は一人では生きられない」とはよく言われる言葉だが、これはもちろん、一人暮らしだとか無人島で一人だとか、そういう状況で生きていくのは大変だという意味ではない。そういう意味での「一人」ではなく、誰とも（A）が無い状況、つまり誰とも関わらずには、人は人間として生きてくることができないということなのだ。人は人と関わることで初めて人間社会で生きていくことができる。そういう意味での、「人は一人では生きられない」なのだ。

では、「関わる」とはどういうことか。その関わり方には様々な手段があるが、私たちが真っ先に思い浮かぶのは「言語」であろう。言語コミュニケーションは大きく「音声」と「B」に分けられるが、いずれも他者に言葉による情報を伝えるため、または他者から言葉による情報を得るために用いられるものである。①科学の進歩も、この言語の伝達手段を増やすことに大いに関わっている。そこで、この言語というものについて深く考えてみたいと思う。

まず最初に考えたいのは、②言語は人間特有のものなのかということである。たとえば、鳥が群れをなしてある方向に飛んでいく時、（A）アリの列を作ってエサと巣を行き来する時、いずれにも言語らしきものは使われていない。だが、同じ鳥類や昆虫で考えても、（B）カラスは鳴き声でコミュニケーションを図っているように見えるし、セミやコオロギのように何らかの意図を持って鳴き声を発しているものもたくさんいる。これらは人間とは異なる手段によって言語を操っていると考えるだろうが、人間が操る言語ほど複雑なものとは考えにくい。

これは決して、複雑な言語コミュニケーションを操る人間が優れていて、単純なコミュニケーションしかできない他の動物が劣っているという話ではない。この差異が意味するのは、動物のコミュニケーションは本能的なものであるのに、③人間の言語コミュニケーションはもつと機械的なものであるという違いである。海を渡る鳥は地球の磁場を感じ取ることで、方向を間違えずに飛ぶことができ、その能力は犬やオオカミ、熊などの一部のほ乳類も持っているようだが、人間にはおそらくその力は無い。もしかしたら大昔は持っていたのかもしれないが、少なくとも今の人類にそのような感覚が備わっているという話は聞いたことがない。他の動物にはあつて人間には無い、あるいは昔はあつたものが失われたとしたら、その理由はいずれにせよ、人間が感覚よりも法則や規則にあてはまるものを重視するようになったからではないだろうか。

この④規則というものを、言語は何よりも重視する。たとえば、「机」を指して、「私はこれを『いす』と呼ぶ」ということがあつては、会話が成り立たない。「書く」という動作を、「私はこの動作を『破る』という」ということも同様に認められない。こうした単語の認識だけではなく、文法にも同じことが言える。「花子さんとお母さんは家に帰りました。」という文の中で、「と」は（C）（ ）という意味で使われるし、一番最後の「た」は（D）（ ）を示す言葉として、規則化されている。こうした規則を共通で理解しているからこそ、会話をしたり文章を的確に理解したりすることができる。

さらにこの規則を学ぶことによって、人間はとても困難なことを実現した。それが、翻訳である。自分たちとは異なる規則を持つ集団の言語を研究し、それを自分たちの規則に当てはめて理解するのだ。これは誰にでもできる簡単なことではない。自分の言語の勉強だけでも相当な時間をかけてするものなのに、さらに他の言語まで学ぼうというのだから、簡単なはずはない。また、規則を当てはめるといっても、規則の作り方がそ

もそも異なる場合が多い。たとえば、日本語や中国語の「犬」を英語では dog という、これは規則の作り方としては同じなので学びやすい。だがフランス語では、犬とたぬきの区別がなく、同じ単語で表される。⑤このような例は他にもたくさんあり、それを自分の言語の規則で説明するごとに、翻訳者は多大な労力を費やしている。

こうして考えると、同じ集団であろうと異なる集団であろうと、他人とコミュニケーションをとる時に必要なことが何かということが見えてくる。相手の言語を理解するということは、単語や文法を理解するというだけでは足りない。相手が何を考え、あるものごとをどうとらえているのか。そういったことに思いをめぐらす力が、何より必要なのではないだろうか。

問一 (A) に入る適切な語句を、この空欄より前から5字で抜き出しなさい。

問二 (B) には、「音声」と対になる一語が入る。適切な熟語を考え、漢字二文字で答えなさい。

問三 — 線①「科学の進歩も、この言語の伝達手段を増やすことに大いに関わっている」とあるが、これについて述べた例として正しくないものはどれか。次のア〜オの中から二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 携帯電話
- イ 自動車
- ウ インターネット
- エ テレビ
- オ 遺伝子操作

問四 — 線②「言語は人間特有のものなのか」に対する筆者の答えとして、最も適切なものを次のア〜エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 虫のように羽で音を出すものはいても、口から音声を発することができるのは人間だけである。
- イ 言語を用いるのが人間だけということは無いが、複雑さは他の動物を上回るのではないだろうか。
- ウ 言語を用いない動物もいるが、何らかの形で言語に近いものを用いている動物がほとんどである。
- エ 音を出す動物は存在するが、人間のように意味のあるやり取りをしている動物は他にはいない。

問五 次のうち、「アリ」と同じと考えられるものにA、「カラス」と同じと考えられるものにBを、それぞれ答えなさい。

- ア 犬同士で吠え合ってケンカをする
- イ ピラニアがえさに一斉に集まる
- ウ ハチが羽音を鳴らしながら巣に集まる
- エ ライオンが自分の存在を示すためにうなり声をあげる

問六 — 線③「人間のコミュニケーションはもつと機械的なものである」とはどういう意味か。同じ段落の言葉を用いて30字以内でまとめなさい。

問七 — 線④「規則というものを、言語は何よりも重視する」のはなぜか。次のうち最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 規則を守れる人でなければ、正しい言葉づかいはできないと思われるから。
- イ 本能や感覚的なもので何かを伝えようとしても、その力は動物にかなわないから。
- ウ それぞれが自分のやり方で話そうとしたら、理解するのは非常に困難になるから。
- エ 言語に定められた規則を理解することが、相手の気持ちを理解することになるから。

問八 (C) には「と」という言葉、(D) には「た」という言葉について、どのような役割かの説明がそれぞれ入る。それぞれに入る説明を考え、答えなさい。

問九 — 線⑤「このような例」として正しいと思うものに○、正しくないと思うものに×を、それぞれ答えなさい。

- ア 日本では「牛」と一言でまとめてしまうが、英語では乳牛か肉牛かなどの分け方によって異なる呼び方をされる。
- イ 英語で「テレビジョン」や「エアコンディショナー」と呼ばれるものが、日本語では「テレビ」、「エアコン」と省略されて呼ばれる。
- ウ 英語では「下あご」と「あごの先」にそれぞれ別の名前がついていて、日本のように「あご」一語ではまとめられない。
- エ 中国で「手紙」はトイレットペーパーのことであるように、日本語と同じ漢字を用いても違う意味のものがある。

問十 言語以外に相手の思いを理解できるものには、どのようなものがあるか。例を二つ挙げなさい。

二 次の各問に答えなさい。

問一 — 部の言葉を、漢字はその読みをひらがなで書き、カタカナは漢字に直しなさい。

- ① 朝日を浴びながら海岸を歩く。
- ② 快い風が草原を吹き渡る。
- ③ 店員がチュウモンを聞きにくる。
- ④ センモン家の意見にしたがう。
- ⑤ 昨夜はフシギな夢を見た。

問二 ー部のカタカナを漢字と送りがなに直しなさい。

- ①日時をタシカメル。
- ②息子のお年玉をアズカル。
- ③車道を歩くとアブナイ。
- ④彼はカナラズ約束を守る人だ。
- ⑤オサナイ子供の声がする。

問三 次の①～④の（ ）の中に、「不」「無」「非」「未」のどれか一つをあてはめて、適切な語句にしなさい。

- ①（ ） 公式
- ②（ ） 関心
- ③（ ） 発表
- ④（ ） 用心
- ⑤（ ） 解決

問四 □に当てはまる漢字一字を答えなさい。

- ①渡る世間に□はなし
- ②良□は口に苦し
- ③桃栗三年□八年
- ④縁の下の□持ち
- ⑤立つ□跡を濁さず